

交流センターだより

おおとし



題名：ニャン

No.163
令和4年
10月号

発行 大歳地域交流センター

TEL 922-4035

FAX 922-4036

人口 14,040

世帯数 6,860

開館時間 8時30分～17時15分

(行政窓口 TEL 922-2461)

(令和4年9月1日現在)

スマートフォン講座の受講者を募集します！

下記の日程でスマートフォン講座を開講します。1回のみの受講も、5回全ての受講も可能です。

○内容、日時

	内容	日時
第1回	初級者向け講座	10月21日(金) 14時00分～15時30分
第2回	買い物に便利な使い方	10月28日(金) 14時00分～15時30分
第3回	忘れないための機能	11月11日(金) 14時00分～15時30分
第4回	調べもの	11月18日(金) 14時00分～15時30分
第5回	LINE	11月25日(金) 14時00分～15時30分

○実施主体 株式会社プレサス

○定員 各回10名程度

○受講料 1回あたり300円

○会場 大歳地域交流センター 講座室

○申込先 大歳地域交流センター 地域担当 TEL 922-4035

○申込期間 9月26日(月)～10月17日(月)

スマートフォンの持参
をお願いします！



クッブ体験会のお知らせ

誰でもできるニュースポーツ「クッブ」の体験会を定期的に開催します！

お一人でも、ご家族でも、分館単位でも参加可能です。ご興味のある方の参加をお待ちしています！ ※事前申し込み制です。

日時：10月13日(木) 19時00分～

場所：大歳地域交流センター 講堂

参加費：無料

持参物：軽い運動のできる服装、飲み物

申込先：大歳地域交流センター 地域担当

TEL 922-4035

申込期間：9月26日(月)～

10月11日(火)



みんなのひろばからのお知らせ

大歳まつりでの「遊びの広場」開催のための準備を行います。手作り工作が好きな方、ぜひお手伝いください。「古くて新しい！遊び道具」を一緒に作りましょう！

子どもとの新しい遊びの発見があるかも？！
割り箸鉄砲、どんぐりコマ、木の実の工作、折り紙、牛乳パック工作…など

日時：10月15日(土)

13時30分～15時30分

場所：大歳地域交流センター 講堂

参加費：無料

申込み：不要。直接ご参加ください。

問合せ先：大窪 (080-2904-8193)



母子保健推進員のご紹介

母子保健推進員さんは、山口市から委嘱を受けてお母さん（妊産婦）と子どもさん（乳幼児）の健康を守るために、皆さんと行政（山口市保健師）とのパイプ役として活動しています。妊娠中と赤ちゃん誕生後に訪問しますので、妊娠や育児に関することをお気軽にご相談ください。なお、秘密は守ります。

氏名	担当地区
秦 裕見子	上湯田上・中・下、周布団地、宝町、上矢原（一部）、ツインタワー周布、若宮町、豊国マンション
松本 喜代美	下矢原、矢原住宅、矢原第二住宅、西矢原
石崎 正恵	坂東、下湯田、黒川市
三輪 陽子	穂積町、穂積県営住宅団地、今井下、今井上、富田原、上矢原（一部）
宮成 里美	岩富
水谷 美子	勝井、鴨原、三作、高井、和田、朝田、高井住宅上、高井住宅下、馬庭、河内、朝田ヒルズ、朝田南
西村 直子	中矢原

問合先：山口市保健センター TEL 921-7085

大歳まちづくり協議会からのお知らせ

大歳まちづくり協議会では、「花いっぱいの大歳づくり」を進めています。

花づくり講習会では、プランターに季節の花を植えます。植えたプランターをご家庭にお持ち帰りいただき、地域の方に見えやすい場所や庭などで育ててください。お花が終わりましても、引き続き花いっぱいの大歳づくりにご協力をお願いいたします。

日時：10月26日（水） ※小雨決行

第1回目 13:30～14:30

第2回目 14:30～15:30

定員：各25名（※定員になり次第締切）

※10月3日（月）から受付開始。

※コロナウイルス感染防止の為、2回に分けて開催しますので、どちらか一方でお申込みください。

持参物：軍手、タオル、マスク

申込み：大歳まちづくり協議会事務局

（大歳地域交流センター内）

TEL 920-1700

子育て支援サークル太陽クラブからのお知らせ①

わくわく「ミニハロウィンパーティー」

～スライムも作るよ～

内容：スライムを作ったあと、ハロウィンパーティー&交流センター探検

日時：10月28日（金）10時00分～

場所：大歳地域交流センター 和室

参加費：無料

持ち物：飲み物、仮装大歓迎です！

募集人数：未就園児の親子10組程度

申込期間：10月 3日（月）10時00分～
10月11日（火）

申込先：竹中（090-7136-8305）



地区社協からののお知らせ

10月末を予定しておりました第1回ふれあい弁当は中止となりました。

第2回ふれあい弁当は、年度末（3月）を予定しています。

問合先：大歳地区社会福祉協議会事務局

TEL 920-1700

子育て支援サークル太陽クラブからのお知らせ②

一緒に月1回の楽しいイベント企画を考えたり、お手伝いをしてくださる方を大募集しています。ご興味のある方は、下記問合先に連絡をお願いします。

問合先：網屋（090-4010-9726）

山口市子ども会育成連絡協議会からのお知らせ ～はしゃごう！楽しもう！60周年記念子ども会フェスティバルが開催されます～

子ども会60周年記念フェスティバルとして、市内21地区子連によるゲーム・地区紹介の展示や紙ヒコーキ競技（飛距離の部、滞空時間の部）が催されます。

市内の子ども会会員の交流の機会となりますので、ご興味のある方はぜひ参加ください。

主催 山口市子ども会育成連絡協議会 後援 山口市教育委員会

日時 令和4年11月26日（土）受付12:00～ 場所 やまぐちリフレッシュパーク

持参物 お茶、体育館シューズ、下履き入れ

参加資格 全国子ども会安全共済会の加入を参加条件とします。

申込み先 大歳地区子ども会育成連絡協議会 田中 090-5699-5608

申込み期限 令和4年10月24日（月）まで ※事前申込みをされた方のみ入場できます。



子ども部会からのお知らせ

「大歳を知ろう！ 見よう！ 伝えよう！」お地蔵さまプロジェクト ～1年かけてゆるく実施します～

みなさんは、地域の歴史を知っていますか？大歳をもっと知って好きになってもらうため、その始まりのきっかけづくりにお地蔵さまプロジェクトを企画しました。大歳地区内には、あちこちにお地蔵さまがおられます。どこに、どんなお地蔵さまがおられるか、どんないわれがあるか、写真や所在地の情報を大歳まちづくり協議会までお届けください。

また、8月24日の地蔵盆の行事も、今はコロナの影響もあり見かけなくなりました。地蔵盆についても、知っている方は、様々な情報を大歳まちづくり協議会までお寄せください。お待ちしております。締め切りは12月末までです。



【大歳まちづくり協議会】
事務局（大歳地域交流センター内）
TEL：083-920-1700

【大歳地区 10月の行事予定】

2日（日） 地区バドミントン大会（8:30～）
3日（月） 燃やせないごみの日
7日（金） ぶっくん来館日（15:20～16:00）
10日（月・祝）ゴミ拾いプロジェクト（9:00～11:30）
12日（水） 母子相談
13日（木） クップ練習会（19:00～）
15日（土） みんなのひろば（13:30～15:30）
17日（月） 金属・小型家電製品ごみの日



19日（水） びん・缶ごみの日
21日（金） パソコン相談（受付 10:00～10:30）
ぶっくん来館日（15:20～16:00）
24日（月） 古紙ペットボトル分別収集（大歳①）
26日（水） 花づくり講習会
27日（木） 古紙ペットボトル分別収集（大歳②）
28日（金） 子育て支援サークル 太陽クラブ（10:00～）
※木曜日はプラ容器包装分別収集



今井の若宮八幡宮

八幡宮は全国に4万4千社あると言いますから、全国の神社数の半分以上を占めます。その圧倒的な広がり、武士の信仰を集めたためでしょうが、大歳でも今井の若宮八幡、湯田の正八幡、岩富の八幡、高井の八幡と朝田神社に合祀された7社中4社が八幡宮です。

八幡宮の祭神は、応神天皇とその母・^{おきながたらしひめ}氣長足姫命（神功皇后の名で知られる）、及び神功皇后の三韓征伐（記紀の朝鮮出兵当時の表現）への神靈的予言で功のあった宗像大社の三女神（一部の場合あり）です。伝説の女王・神功皇后は夫の仲哀天皇とともに、九州の熊襲征伐に出かけて、夫を失いながらも熊襲を征伐し、さらに朝鮮へ出兵して、新羅、百済、高麗を服属させて朝貢を約束させたとされています。その後、月満ちて筑紫の地で応神天皇を出産、大和に帰ると腹違である仲哀天皇の長子らを打ち破って、武内宿禰に補佐されて、摂政として応神天皇が即位するまで、政治をおこなったとされています。まさに「弓矢の八幡」ふさわしい女傑伝説です。

ところで、治世に大した業績のない息子の応神天皇が主神とされるのはなぜでしょう。天皇家の万世一系伝説に異を発するのが、近江で生まれ越前で挙兵して即位した継体天皇の存在です。地方の豪族に過ぎない継体は応神天皇の5世の孫と称しますが、それが事実であったとしても皇族の権利はすでに失われているに等しいといえます。しかし彼がその後の継体～推古朝を生み出したのですから、応神天皇はこの王朝の皇祖として崇拜の対象となったようです。命がけて領土を守る「一所懸命」の武士にとって、その領土が孫子に伝承されることは最大の望みであり、そうした領土支配を生み出した元祖への崇拜は武士の切実な願いと重なるものでした。

ところで若宮八幡宮だけ主神が異なります。仁徳天皇、応神天皇と神功皇后、宗像三女神となっていて、仁徳天皇が付け加わっています。若宮とは皇族の皇子を意味しますから、神功皇后の若宮が応神天皇、応神天皇の若宮が仁徳天皇という関係になります。「私どもは若様を主神としてお祭りいたします」とへりくだるのですから、摂社や末社となる場合が多いのですが、逆に、簡単に勧請できるという利点もあり、各地に若宮様ができます。また、菅原道真を祀った天満宮のように怨念を鎮める神々をまつる場合も、若宮とされる場合があるようです。怨念の対象をできるだけ小さく見せたいのでしょうか。

今井の若宮八幡宮は社伝では正安元年（1299年）に宇佐八幡宮から勧請されたことになっており、創建年がわかる範囲では、大歳で最も早い創建となります。しかし、正安元年は「2度にわたる元寇」と「建武の新政」にはさまれた鎌倉時代末期にあたります。矢原は「『アワラ』の転訛したもので『泥田、ヤブ田』のことであろう」と山口県地名考に書かれた地域であり、近接する富田原は、矢原の中でも最も開発が遅れたと考えられる地域ですから、創建年の確定は検討が必要と思われます。しかし幕末の始まりをなす天保期の「風土注進案」には産子58家と近隣の神社（同じ矢原村の正八幡宮、住吉神社）にひけをとらぬ、むしろ神殿・拝殿の規模では2社を圧倒する規模となっていますから、江戸期の今井の発展がしのべられます。（大歳史談会、文責：武波義明）



若宮八幡宮（若宮様）の案内板



以前、ここに若宮八幡宮が祀られていた